



支援者としてのあり方の実践

知的障害のある
犯罪行為者への支援を学ぶ研修会
〈基礎研修会 上級編〉

2022年10月

水藤 昌彦
山口県立大学／国立のぞみの園
masa.mizuto1@mac.com



この講義の目的と到達目標

【目的】

知的障害のある犯罪行為者への支援にあたって、実際に支援するためには、という視点を意識しながら、**多面的視点による対象者の理解、支援者への支援、対人援助における反省の取り扱い方**について、皆さんと一緒に考えます。



【到達目標】

- (1) 「**生物・心理・社会モデル**」を用いたアセスメントを試してみることができる。

- (2) 「**対象者理解のための5つの視点**」をもとに対象者を捉えてみるることができる。

- (3) **支援者への支援、対人援助における反省の取り扱い**の基本と留意点について説明できる。



本編を視聴するにあたって...

- ① **初級編、中級編**の内容を前提としていますので、必要に応じて**確認**してください。**無料配信中！**
- ② **架空事例**を題材としますので、事例資料を事前に**読んで**ください。



講義の項目

- I. 「生物・心理・社会モデル」を用いたアセスメント
- II. 対象者理解のための5つの視点
- III. 支援者への支援・対人援助における反省の取り扱い

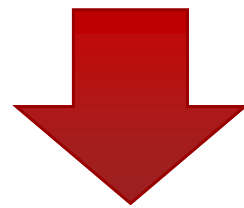


I. 「生物・心理・社会モデル」を用いた アセスメント



アセスメントにあたっての枠組みが便利な理由【復習】

- 複雑な生育歴、多くのエピソード、変化の激しい人間関係
 - 情報量の増加、内容の多様化+複雑化、内容の相反
- 「何に、どこから手をつけていいのかわからない」
- 情報をいったん分類、グループ化すると、整理しやすくなる

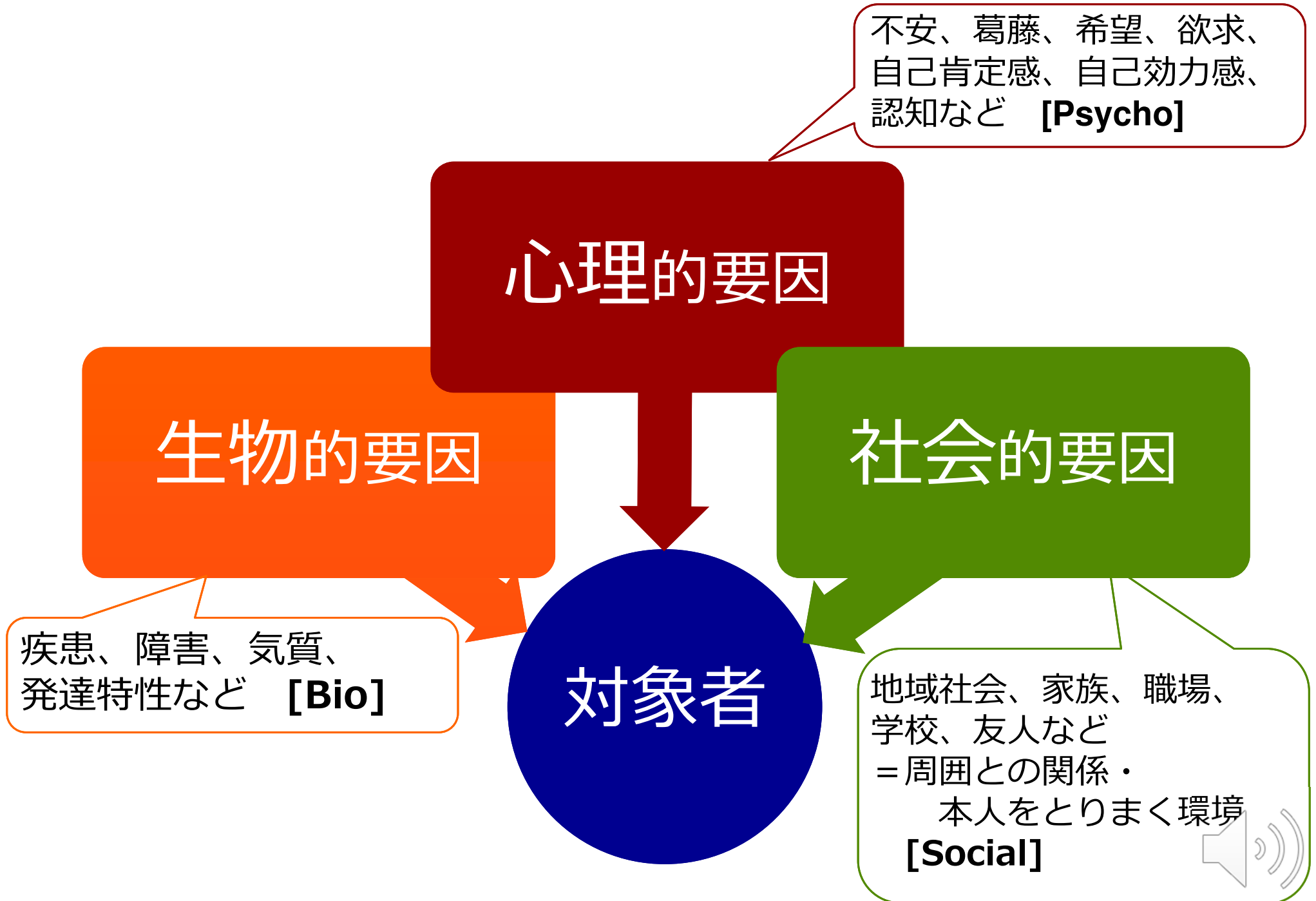


「生物・心理・社会モデル」 という枠組み
によるアセスメントが有効



タナカアキラさんの場合…

- 父親からの暴力。兄によるアンビバレントな態度
- 学校時代のいじめ被害、不登校
- 就職後のいじめ被害、頻繁な転職
- 少年時代に兄との万引き → 母親による謝罪・被害弁済
- キーパーソンである母親の病気
- 知的障害の存在：IQ56（少年時の検査）
- 同じ事業所を利用する女性への性加害行為
- 男性職員との緊張関係 → 利用継続の危うさ
- 今後の生活の場という問題

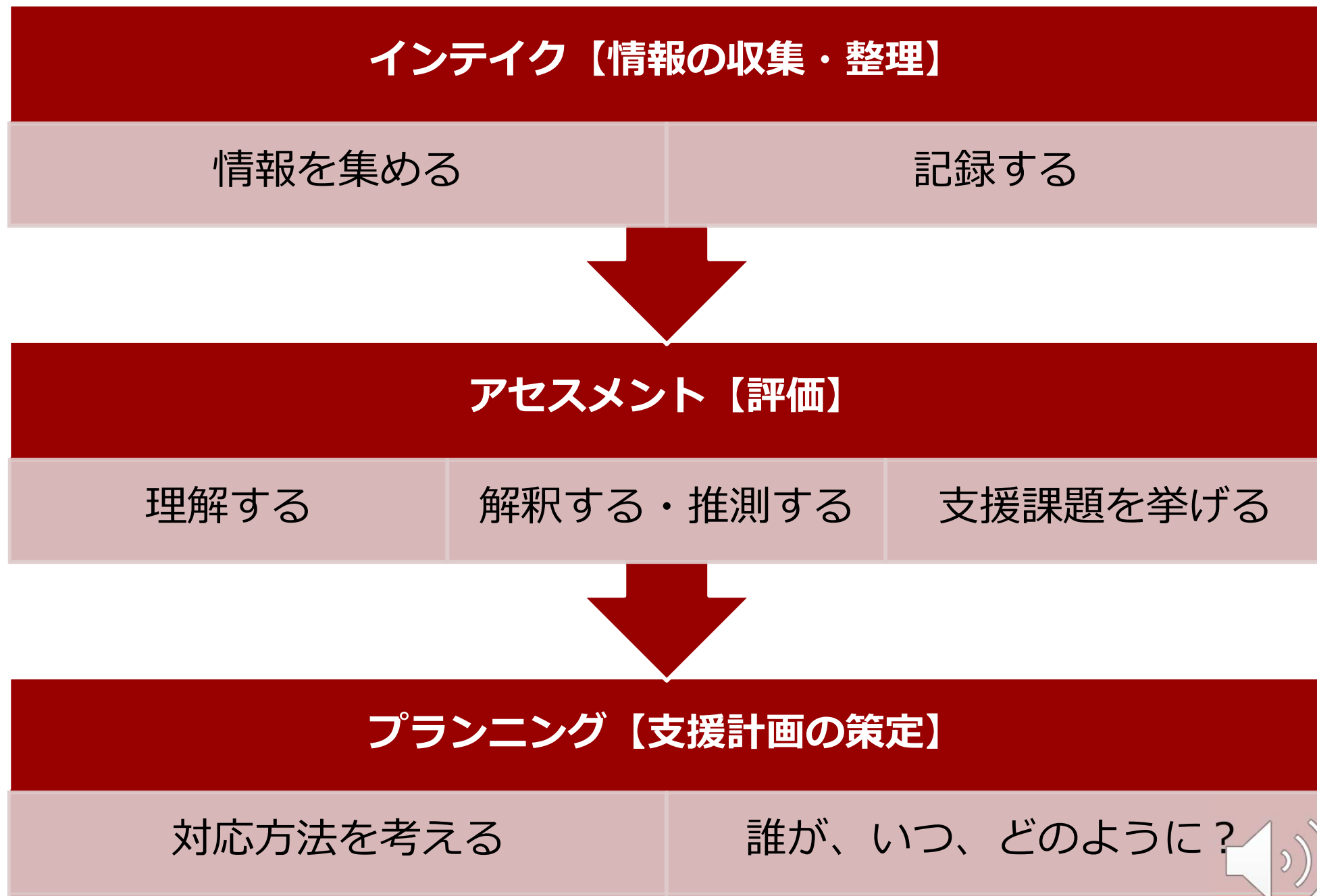


BPSモデルによるアセスメントと支援計画作成の流れ

- (1) 収集した情報の要点を書き出す
- (2) 上記の情報をB・P・Sの3つの要素に分ける
- (3) **要素ごとに、わかったこと・推測したことを記述する**
→ 「○○○であったことから、～ではないか」
- (4) 支援課題を抽出する
- (5) 各要素のあいだの相互作用、つながり、関連性を考えてみる
- (6) 支援課題に対応するためにやろうと思うことを挙げる
→ 「それでは、△△△を試してみてもどうか」
- (7) 総体としての、その人の状態を考える



図式化すると...

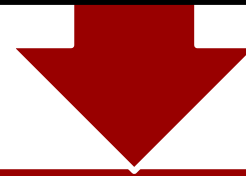
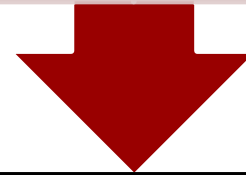


よくあるのは...

インテイク【情報の収集・整理】

情報を集める

記録する



プランニング【支援計画の策定】

対応方法を考える

誰が、いつ、どのように？

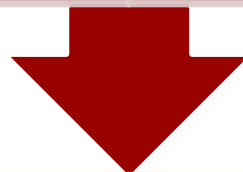


ということは...

インテイク【情報の収集・整理】

情報を集める

記録する



アセスメント【評価】

理解する

解釈する・推測する

支援課題を挙げる



プランニング【支援計画の策定】

対応方法を考える

誰が、いつ、どのように？



アセスメントのためのフォーマット

作成日： 年 月 日

インテイク 【情報の収集・整理】	アセスメント 【評価】		プランニング 【支援計画の策定】
情報 (見たこと、聴いたこと、データなど)	理解・解釈・仮説 (わかったこと、推測したこと)	支援課題 (支援の必要なこと)	対応・方針 (やろうと思うこと)
	生物的なこと (疾患、障害、気質、発達など)	①	
		②	
	心理的なこと (不安、葛藤、希望、感情など)	③	
		④	
		⑤	
	社会的なこと (家族、学校など)	⑥	

(出典：近藤直司 (2012) 『アセスメント技術を高めるハンドブック』明石書店, p.33)

改編)



資料「BPSモデルによるアセスメント記載例」
を参照してから、次の動画を視聴してください。

